

【評価結果：廃止】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	親子による施設見学会の開催	環境局 廃棄物指導課	イベント	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 夏休みに親子でごみの排出場所や廃棄物処理施設等の見学を行い、ごみ処理について学習する場を提供し、家庭及び地域内での実績的なごみの減量化・資源化を図る。 【対象者】 市内の小学生とその保護者 【具体的な活動内容】 ・リサイクルプラザ・北部清掃工場の見学 ・かごしま環境未来館の見学	市単	[概算コスト] 815 (内訳) ・決算額 173 ・人件費 642 (0.08人)	[概算コスト] 762 (内訳) ・決算額 128 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 815 (内訳) ・決算額 187 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 897 (内訳) ・予算額 275 ・人件費 622 (0.08人)	実施回数 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	アンケートで満足したと回答した世帯数 (単位:世帯)	[目標値] 28 [実績値] 27 ＜達成率＞ 96.4%	[目標値] 26 [実績値] 26 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 35 [実績値] 33 ＜達成率＞ 94.3%	[目標値] 40 [実績値] 33 ＜達成率＞ 94.3%	A	F	廃止 (理由) 親子でごみ処理について学習し、家庭や地域内でのごみの分別等向上を図るため、必要な事業であるが、同じ夏休みに無料で北部清掃工場・リサイクルプラザ親子見学会が計8日あることや、小学4年生は授業で、一般には市営施設見学会で見学する機会もあることから、廃止すべきである。
2	老人クラブ組織強化事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成24年度 (平成24年度は県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業で実施) 【概要】 会員数が減少傾向にある単位老人クラブの組織を強化するため、市老人クラブ連合会に委託して、活動推進員を置き、新規会員の加入促進やクラブ数の増を図る。 【対象者】 市老人クラブ連合会 【具体的な活動内容】 市老人クラブ連合会に委託して、活動推進員による、新規会員の加入促進やクラブ数の増を図る。	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 (0.00人)	[概算コスト] 4,310 (内訳) ・決算額 2,426 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 4,302 (内訳) ・予算額 2,436 ・人件費 1,866 (0.24人)	単位老人クラブからの相談件数 (単位:件)	[目標値] [実績値] ＜達成率＞	[目標値] [実績値] ＜達成率＞	[目標値] 75 [実績値] 75 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 75 [実績値] ＜達成率＞	新規設立クラブ数 (単位:件)	[目標値] [実績値] ＜達成率＞	[目標値] [実績値] ＜達成率＞	[目標値] 4 [実績値] 6 ＜達成率＞ 150.0%	[目標値] 4 [実績値] ＜達成率＞	B	F	廃止 (理由) 財源となる基金が終了していることから、本事業は廃止すべきである。なお、会員増に向けた取組については、引き続き、老人クラブ補助金交付事業の中で検討すること。
3	自転車盗難防止・安全運転キャンペーンの実施	市民局 安心安全課	啓発・広報	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 警察、防犯団体連合会、交通安全協会等と連携し、自転車盗難防止、自転車安全運転に関する街頭キャンペーンを実施することで防犯及び交通安全意識の高揚を図る。 【対象者】 全市民 【具体的な活動内容】 利用者及び盗難が多い駐輪場や自転車の通行が多い通りなどにおいて啓発チラシ、啓発グッズを配布する。	市単	[概算コスト] 744 (内訳) ・決算額 423 ・人件費 321 (0.04人)	[概算コスト] 601 (内訳) ・決算額 284 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 495 (内訳) ・決算額 181 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 856 (内訳) ・予算額 545 ・人件費 311 (0.04人)	街頭キャンペーン実施回数 (単位:回)	[目標値] 3 [実績値] 3 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 ＜達成率＞ 100.0%	鹿児島市内の自転車盗難認知件数 (単位:件)	[目標値] 2,237 [実績値] 1,632 ＜達成率＞ 137.1%	[目標値] 1,632 [実績値] 1,548 ＜達成率＞ 105.4%	[目標値] 1,548 [実績値] 1,550 ＜達成率＞ 99.9%	[目標値] 1,550 [実績値] ＜達成率＞	A	F	廃止 (理由) 自転車の盗難防止・安全運転に関する取組は、本市が補助金を出している防犯団体連合会や、交通安全市民運動推進協議会等でも行われていることから、本事業としては廃止すべきである。
4	消費者と業界との意見交換の促進事業	市民局 消費生活センター	市民参画	○事業開始年度 昭和42年度 【概要】 「消費生活懇談会」を開催し、消費者行政の円滑な推進を図る。 【対象者】 委嘱委員26人 ①消費者及び消費者団体 ②関係業界 ③学識経験者 ④報道機関 ⑤県及び市 【具体的な活動内容】 年1回開催。市民の消費生活に関する諸問題について、テーマを設けて、消費者や事業者の代表者、報道機関と意見交換等を行う。	市単	[概算コスト] 502 (内訳) ・決算額 100 ・人件費 402 (0.05人)	[概算コスト] 512 (内訳) ・決算額 116 ・人件費 396 (0.05人)	[概算コスト] 500 (内訳) ・決算額 108 ・人件費 392 (0.05人)	[概算コスト] 553 (内訳) ・予算額 164 ・人件費 389 (0.05人)	消費生活懇談会開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 ＜達成率＞ 100.0%	会議における発言者数 (単位:人)	[目標値] 18 [実績値] 16 ＜達成率＞ 88.9%	[目標値] 20 [実績値] 16 ＜達成率＞ 80.0%	[目標値] 21 [実績値] 23 ＜達成率＞ 109.5%	[目標値] 26 [実績値] ＜達成率＞	A	F	廃止 (理由) 昭和42年当時と比較すると様々な情報媒体が発達し、消費者問題に関する情報収集の機会も増えるなど、意見交換会としての意義も薄れてきていることから、廃止すべきである。